

小さな掛金、
大きな保障で
あなたの暮らしを
守ります

共済だより

2022.5.26
No.28
〈発行〉
大阪年金者組合
共済部

民間の火災保険より有利な全労連の火災共済！

民間火災保険は大幅値上げ！

- ◆2021年6月 過去最高の値上げ → 平均10.9%
- ◆2022年10月 保険料大幅値上げ決定、10年長期契約も廃止

長期は割安のため
実質的な値上げ

平均15%の保険料の値上げをしています。2021年1月は火災保険6・8%、地震保険5・1%のダブル値上げ、2022年1月は10・9%の大幅値上げ。さらに10月にも再値上げが予定されており、10年長期契約も廃止され、実質的な値上げになります。

なかまづくりや継続更新手続きの中で、全労連の「火災共済」の優位性を宣伝し、民間保険からの移行や新規加入を勧めましょう。



民間の「火災保険」は近年の相次ぐ自然災害の多発で、過去15年間で

来年1月から掛金据え置きで

「地震等共済金」最高300万円制度化

全労連の火災共済は値上げなし

自然災害による住宅被害に備えて火災共済の拡大を

掛金月額1,800円（年額21,600円）で、こんなにワイドに保障!!

例 木造持ち家30坪、住宅210口、家財150口に加入の場合

- 火災**で家が全焼 **3,800万円**の給付
- 大雨**で床上浸水 **805,000円**の給付
- 落雷**でテレビアンテナや電化製品一式が壊れた **57,000円**の給付
- 車両の突入**で家の外壁が壊れた **96,000円**の給付

他人事だと思っ
ていませんか？ある
日突然こんな被害
が起こるかも…



共済で対話して、支部に1,000円ゲットしよう!!
加入に結びつかなくても500円支給!!

5,000人共済対話拡大キャンペーン ～6月30日まで

- 1 共済のパフレットやピラ、申込書を渡して組合員と個別に対話したが加入に至らなかった場合…対話1名に対して**支部に500円**支給
- 2 組合員と対話して共済に新規加入または増口してもらった場合…1名につき**1000円**支給
- 3 組合未加入者と共済に対話し、共済には加入しなかったが組合に加入した場合…**1000円**支給（組合と共済の両方に加入した場合も1000円）

★対話の都度、忘れずに「拡大推進費」請求書の提出を！

「たすけあい介護サービス」を利用すれば安心して福祉用具が使えます

給付の一例

電動ベッド一式 14,000円/月
車いす 6,000円/月
合計 20,000円/月
◎年間利用料：240,000円/年

- 年間助成額：24,000円/年 [240,000円×1割(0.1)]
- 年間控除額：4,160円/年
※事務手数料…1,760円/年 [440円/年×4回(3ヵ月毎)]
※消費税…2,400円/年 [24,000円/年×0.10]

★受取助成額：19,840円/年 [24,000円/年-4,160円/年]